

みなさん、おはようございます。2学期が今日から始まります。新型コロナに加え、猛暑が続いています。これからも厳しい残暑が予測されますが、熱中症に十分注意して暑さに負けず、コロナに負けず毎日を送ってほしいと思います。

さて、誰がこんなことを予想できたか。新型コロナによって、今まで当たり前だったことが当たり前と言えない日々になってしまいました。

学校はもともと密でなりたっていた面があります。対面で話をしたり、グループでわいわい言いながら作業をしたり、みんなで集まって何かをしたり…が学校のあたり前でした。しかし、コロナ禍の時代は対面を避け、2m離れて、大きな声でしゃべらない、黙って静かに食事…などなどが求められます。

こうなると「あたり前」ってなんなのか、よくわからなくなってしまいます。ただ今は、コロナ禍の時代と言えば、手洗い・マスク・ソーシャルディスタンスの3点セットがあたり前なのだという事かもしれません。

明日から始まる翔舞祭もこんな時代に、いろいろできることを生徒会執行部、文化祭委員会、各委員会などが知恵を出し合い、企画してくれました。そういえば、本校の正門がきれいになったことに気が付いていますか。生徒会で清掃をし、白いペンキ塗りをしていただきました。正門にあるバラはESDクラブの皆さんが消毒など、日頃から手入れをしていただき、綺麗な花を咲かせてくれています。夏休み中に学校の清掃を行ってくれたクラブもあります。自分たちで自分たちの学校をきれいにしようという気持ちがとてもありがたいです。1・2年生の教室棟の廊下の壁もきれいにしてもらいました。きれいな壁を大切にしてください。

ところで、この夏、北信高野連の役員になったことから、オリンピックスタジアムのバックネット裏の本部から試合を何度か見ました。夏の大会の代替試合で本校の野球部も頑張ってくれ、本部で「イヌワシの歌」を聞くことができちょっと感動モノでした。この代替大会のサブタイトルは長野南高校のマネージャーさんが考えた「思いを咲かせ この一瞬に」でした。結果はご存じのとおり佐久長聖高校が優勝しましたが、どのチームも3年生の思いを咲かせた良い試合だったと感じています。その裏でコロナの感染者が一人も出ないように試合が終わるごとにベンチの消毒が行われ、検温や人数制限、誘導など可能な限りの感染症対策が行われていました。そして、そのことを選手一人ひとりが分かって、感謝してプレーしていたことも素晴らしいと感じました。

話を元に戻して、翔舞祭は特別な時間で生徒会最大の行事であり、文化系クラブの発表の場でもあります。3年生にしてみれば、高校生活最後の自分たちの文化祭という思いがあると思います。明日から始まる翔舞祭でも、舞台裏を支えてくれている人たちに感謝しつつ、感染症対策を一人一人が自覚して実践し、それぞれの一瞬・一瞬にそれぞれの思いをしっかりと咲かせてほしいと思います。

そのうえで、3年生は自分の進路実現へのチャレンジが始まる2学期となります。1・2年生は1番長い学期で学習にクラブ活動、ESD活動など学びの貯えを行い、自分の進むべき道を考える学期となります。先が見えない、読めないコロナ禍の時代でも自分の進む道を見定めて、2学期を過ごしてください。

終わります。